

『ため池防災管理システム』

ため池一斉検点検、耐震調査、および氾濫解析の結果を1システムで一元管理します!!



農村地域における都市化、混住化、高齢化が進行する中、将来にわたり「**ため池の管理**」がおろそかになる可能性があります。

本システムは、防災上の観点から、ため池の一斉検点、耐震調査、氾濫解析の結果等、ため池に関するあらゆる情報を一括収納し、簡単な操作で検索、表示、地図印刷を可能にしています。

特徴

● 浸水想定区域図の管理

- 農村工学研究所「ため池 DB ハザードマップ/簡易氾濫解析 ver4.0」の出力結果を利用
- 浸水想定区域を基盤地図上（国土地理院 電子地形図 25000）で**集積**（登録ため池 無制限）
- 浸水域の最大水深、最大到達時間、最大浸水時間、**歩行困難度**を色分け表示
- 用紙サイズ、地図表示範囲、縮尺を指定するだけで、浸水想定区域図を簡単印刷

● ため池データベース・耐震調査結果の表示

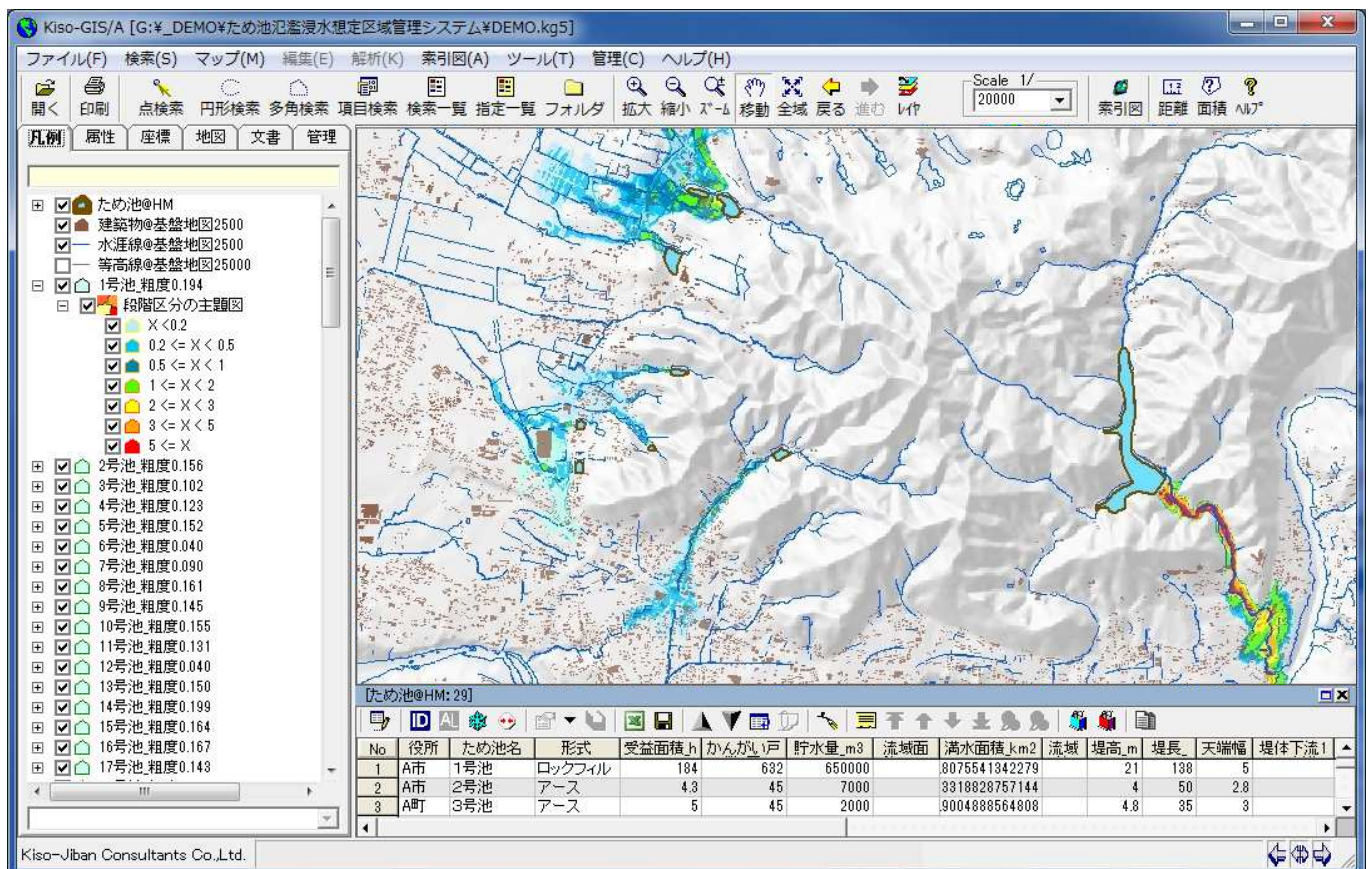
- ため池データベース構築要領（H25.3 農水省農村振興局防災課）で作成した**データベースの登録**
- ボーリング柱状図、耐震解析結果、ハザードマップ等、あらゆる電子データをリンク表示

● 住民説明会/ワークショップ説明ツール

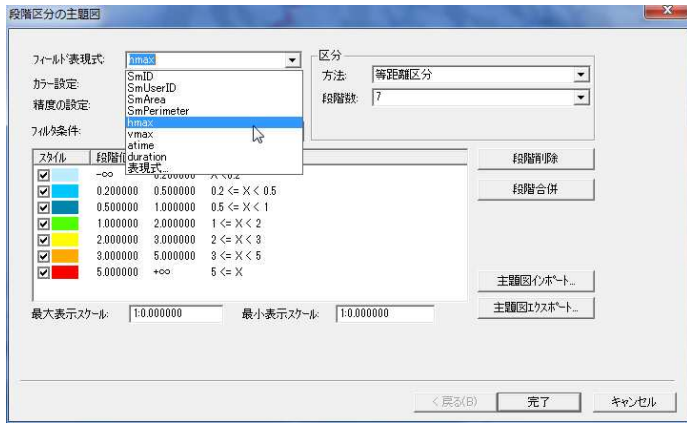
- 浸水の様子をアニメーションで表示機能。**住民説明会・ワークショップ**等、住民防災教育を支援

● データの汎用性

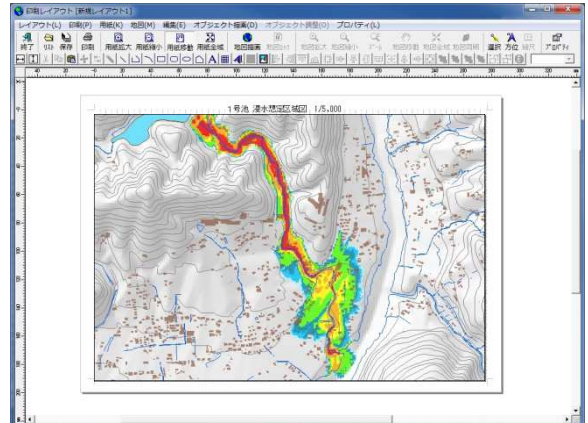
- **土砂災害警戒区域**、砂防指定地、土砂災害危険箇所等の危険箇所図と重ね合わせが可能
- 多様の GIS データ形式（SHAPE 等）によるデータ入出力が可能。他システムとの親和性大



浸水想定区域図の表示と印刷

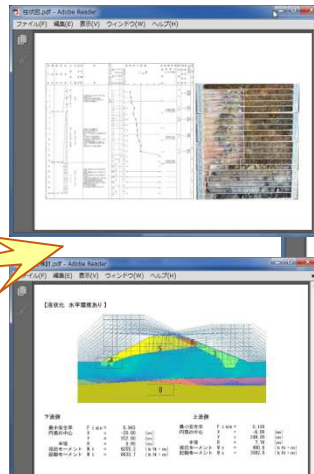
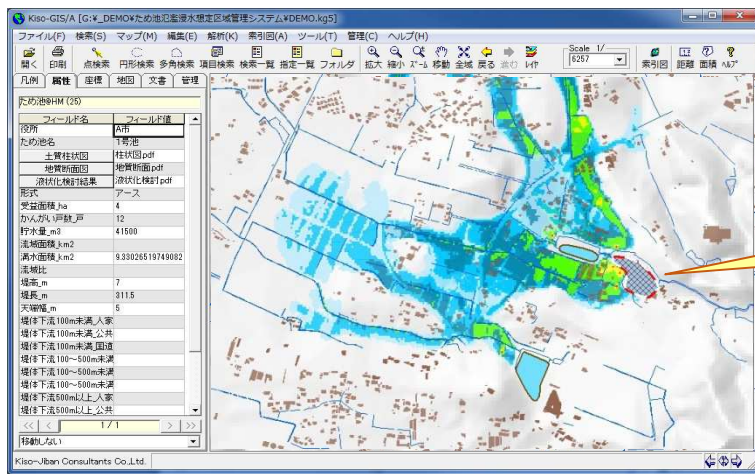


【段階区分図の設定】 最大水深 hmax、到達時間 atime、浸水時間 duration を色分け表示。段階値と色は任意に設定可能。



【氾濫想定区域図の印刷】 用紙イメージを表示させて、任意の範囲を、任意の縮尺で印刷。

ため池に関するあらゆる電子文書の登録と表示



◆土質柱状図

◆堤防の地質断面

◆液状化検討

【関連文書のリンク表示】 ため池をマウスクリックすることにより、ため池に関するあらゆる電子文書をリンク表示。新しいレイヤの追加、文書の登録はユーザが任意に可能。

浸水シミュレーション (住民説明会・ワークショップでの教材用)

【シミュレーション】 氾濫水は一気に流下します。シミュレーションを見ながら、避難方向を確認することができます。

